

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和元年度)

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ③アジア拠点化・国際物流分野 (3/4)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
ハイパー&グリーンイノベーション水島コンビナート総合特区(岡山県)	3.9	4.4 進捗度 ・企業間連携による用役コストの低減 117% ・水島港の輸送効率改善による貨物取扱量 94% ・企業集積によるコンビナートの成長と雇用の確保 186%	3.3 規制の特例等 ・地域活性化総合特別区域ガス融通事業 ・回送運行効率化事業 ・分割可能貨物輸送効率化事業 地域独自の取組 ・高圧ガス保安法に係る保安検査報告書の提出期限の延長等	4.0	<p>・コンビナート全体の効率性向上のため、ソフト・ハード面での整備が積極的に行われている。その中で、企業集積によるコンビナートの成長と雇用の確保は目標達成され、近年の数値結果も増加傾向で、一定の評価はできるが、他指標は年ごとに不安定であるため、今後のコンビナート全体の効率性を安定的に上昇させることができるか、今後注視する必要がある。</p> <p>・柔軟なサプライチェーンの構築が必要であり、鉄鋼分野等の市況の大幅悪化の影響なども考慮する必要あり。</p> <p>・規制の特例措置を活用したコスト削減が着実に進捗している。また、集積形成のために更なる新規企業立地が継続的に増加していくことが必要であり、新規立地が継続的に増加するか注視したい。</p> <p>・オフガスの事業所間での融通が進んでいない原因を明らかにして対策を考えるべき。</p>